

＜クラウド実験教室第6回：奥越高原青少年自然の家、「もりの楽しい科学実験教室」：令和8年3月7日（土）、

14：00～16：40 に実施＞

今回の実験教室は第2回と同じく、大野市六呂師高原にある奥越高原青少年自然の家が主催する“もりのアドベンチャースクール⑦”のプログラムの一部として実施しました。参加者は児童生徒33名、キャンプカウンセラー13名、実験教室のスタッフはNPO ふうい科学学園から3名、青少年自然の家から3名（現職教員）で行いました。大ホールに大勢が集まり大変賑やかで楽しい実験教室となりました。

・最初、参加児童生徒全員で“改良風船ホバークラフト”を組み立てて（各自持ち帰り）、まさつの無い運動の1つを体験しました。その後、3つのグループに分かれ、A:まさつの無い装置で運動の実験、B:静電気の実験、C:音の実験を30分ずつ交代で体験しました。小・中学生の児童生徒を対象にした実験教室の内容としては、少し高度な内容でしたが、子どもたちは喜んで体験していました。特に、静電気の実験はとても気に入ったようです。



A: 摩擦の無い装置で運動の実験コーナー



B: 静電気の実験コーナー



C: 音の実験コーナー



児童・生徒が集まって開校式

風船ホバークラフトを作る



机の上をスーッと動く風船ホバークラフト



ピンポン玉を使って、微小ビーズを用いる摩擦の無い装置
の仕組みを理解する



微小ビーズを簡易ルーペ顕微鏡で観察



摩擦の無い装置を使っていろいろな運動の実験



BB 弾どうしが同じ電気で反発し合うことを見る
実験（上）、手作り検電器で静電気の実験（右）





静電気を体で感じ、驚く児童



音叉を使って気柱の共鳴の実験



マイクとオシロスコープを使って
音の波形を観察



インドネシアの伝統楽器（アングルン）
の説明

実験教室で使用したテキスト（全10ページ）の表紙

奥越高原青少年自然の家
令和7年度もりのアドベンチャースクール⑦

「もりの楽しい科学実験教室」

1. 科学工作「風船ホバークラフトづくり」
2. 科学実験体験
<A: まさつの無い装置で運動の実験 >
<B: 静電気の実験 >
<C: 音の実験 >

主 催 : 奥越高原青少年自然の家

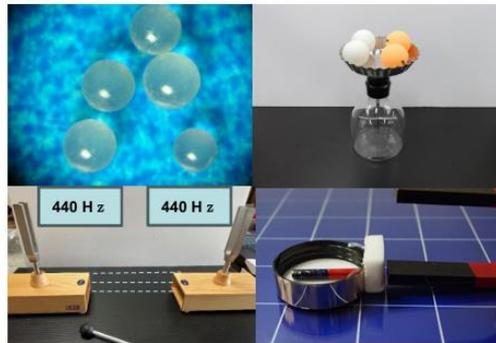
協 力 : NPO 法人ふくい科学学園

(福井県 2025 年度ふるさと納税による新事業創出支援事業 :

「地域で作る小さな科学館」、実験教室第 6 回)

開催場所 : 奥越高原青少年自然の家

開催期日 : 令和 8 年 3 月 7 日 (土)、14:00 ~ 16:40



まさつの無い装置の微小ビーズ(直径 0.3 mm) (左上)、電気を持ったピンポン玉で箔が開く (右上)、音叉 (おんさ) を使って音の共鳴実験 (左下)、運動の第 2 法則(力と速度変化の関係)を演示する (右下)

保護者へのお願い：漢字にルビを打っていませんので、読み方を教えてあげてください。

名前